

子ども・子育て会議報告書に係る検討事項

(1) 妊娠・マタニティ期

①主な課題

孤立した子育てを防ぐためのアプローチと必要なサービスの充実を図り、これから父親・母親になる人達への個別的なサポートの充実

②テーマごとの検討事項

◎ すぐに取り組めるもの

テーマ	検討事項
仲間づくり	母子手帳の交付時に妊婦への情報提供（安心・安全メール、イクトモの活用）
情報提供の充実	イベントや教室などの広報の強化

◎ 中長期的に検討するもの

テーマ	検討事項	今後の方向性
仲間づくり	妊娠期の教室(育児教室にマタニティの人にも来てもらえるように)の開催（土日・夜開催を検討）	
	子育て支援センターや保育所で仲間作り、ふれあい体験の場	
情報提供の充実	母子手帳をもらいに来ることのネーミングをつける(個別指導や相談体制が整っていることのアピール)	

テーマ	検討事項	今後の方向性
経済面の保障	妊婦健診の自己負担に対する補助	
	出産祝い金の支給	
生活・子育て環境の充実	産婦人科、小児科、耳鼻科、皮膚科など妊婦や子どもに係る医療機関の整備	
	駅のバリアフリー化	
	子どもと親が安心して利用できる公園の整備	
	公共機関のトイレ等の整備	

(2) 未就園児

①主な課題

子育て中の親同士が会う場等が少ないので、それをどう作り出すか、また、情報提供の充実

②テーマごとの検討事項

◎ すぐに取り組めるもの

テーマ	検討事項
出会い、交流の場の創出	健診の場を出会いの場に（新しく来た人や積極的でない人も入りやすい雰囲気作り、母親同士の交流する時間の確保）
	おひさま広場や既存の集まれる場所の広報の充実（利用者の声なども）

◎ 中長期的に検討するもの

テーマ	検討事項	今後の方向性
出会い、交流の場の創出	必ず誰かいて、気軽に集まれる場所	
	高齢者とも交流できる場所	
子育てサービス	ファミリー・サポート・センター事業の早期実施（自分の時間を確保できるようちょっとしたこともしてもらえる一時利用サービス）	
子育てサービス	サービス利用に対する罪悪感の解消（気軽に使えるように）	
子育て情報の発信	子育て応援はがき（誕生から2歳の誕生日まで育児情報等を掲載）を送付（子育て応援はがきを持っていることによる特典の検討）	

(3) 学齢期

①主な課題

引きこもり・不登校に対する対策や子ども達が放課後等に安心して活動できる放課後児童クラブの充実や放課後こども教室の実施を図り、居場所の確保の促進。

②テーマごとの検討事項

◎ すぐに取り組めるもの

テーマ	検討事項
子どもが同じ教育を受ける環境づくり	既存制度の活用の周知の強化
放課後の居場所づくり	学童の普段の様子への視察

◎ 中長期的に検討するもの

テーマ	検討事項	今後の方向性
引きこもり、 不登校対策	相談を受ける場、受けられる人(子どもから信頼を得られる人)の育成	
	社会との接点が切れないようどう繋げていくか	
	学校と家庭がどう向き合っていくか	
	養護教諭の質と量の充実	

テーマ	検討事項	今後の方向性
地域で子どもを見守る体制づくり	学校ごとで実施している地域とのミニ集会の充実（多様な立場の人を加え、テーマを絞って開催）	
	職場体験の充実（多種多様な職業の体験、講和）	
子どもが同じ教育を受ける環境づくり	ある程度の権限を持って生活のコーディネートを図れる人の育成（中学校卒業位まで）	
放課後の居場所づくり	放課後子ども教室の実施	
	指導員の研修会を実施する（年2回程度）	
	学校活動の中での地域クラブの実施（地域の中に馴染んでいく活動）	
その他	スクールバスの活用充実	